

多くの「ありがとう」と 出合い、「ありがとう」を を生み出してほしい

関西福祉科学大学 理事長・学長 江端源治
まごめ／堀水潤 撮影／有本ヒデヲ



【理事長・学長プロフィール】1958年生まれ。北海道大学農学部卒業。関西女子短期大学講師、関西福祉科学大学副学長などを経て2008年に同大学学長に就任。学校法人玉手山学園理事長。福祉系大学経営者協議会理事、大阪私学経営者協議会会長ほか役職多数。

【大学プロフィール】1942年設立の玉手山高等女学校を源流に1997年開学。社会福祉学部(社会福祉学科・臨床心理学科)、健康福祉学部(健康科学科・福祉栄養学科)。2011年、保健医療学部(仮称)リハビリテーション学科を設置予定。

本学の建学の精神は「感恩」です。私
はこれを、「多くの『ありがとう』に出合
い気づき、感動感謝の行動から、また新
しい『ありがとう』が生み出されていく」
という表現に変え、語り続けています。
学生生活さらには人生において出合う
であろう多くの「ありがとう」の場面。そ
の時、感じた感謝の気持ちを、次の行動
へとつなげ、新たな「ありがとう」を生み
出してもらいたいです。

福祉社会の構築に寄与する者は知識
や技術はもちろんです。それを支える
豊かな心が何より大切です。本学の学生
は、高い志と優しい心を持っています。例え
ば手話部による手話コースなどを見る
と皆やさしい顔をしていて、見るたびに胸
が熱くなります。本学で豊かな心を養っ
てほしいし、卒業後「自分は『ありがとう』
を大切にする学校で学んだのだ」と、母校
を誇れるようになってほしいと思います。
私学にとつて建学の精神は魂です。私
は折に触れ、いくども繰り返し、この精
神について教員に話しています。学生と
日々接するのは教員であり、ゼミなどを
通じてその精神、さらには大学で学ぶ意
義や人生についても伝えてほしいからで
す。ただし、経験に基づいたそれぞれの
言葉、自分流の言葉で語ってもらいたい。

感性が豊かな若者たちの心に、直接届け
てほしいのです。

来年度設置予定の保健医療学部
(仮称)はまさに建学の精神を体現する
学部です。人の幸せを願う豊かな心と、
確かな知識・技術を併せ持つ理学療法
士、作業療法士を育てます。強みは、同
一学校法人の関西医療技術専門学校
を発展的に移行させた学部であるこ
と。すでに十分な実習先が確保され、現
場では多くの卒業生が支えてくれるこ
とでしょう。国家試験合格100%(09
年度卒業生53人全員合格)を続ける
専門学校との伝統を受け継ぎ、実績のあ
る既存の学科とも連携をとりながら、
より高度な教育力を発揮します。

私は一人でも多くの学生に、この4年
間は学ぶ好機であること、学ぶ責任があ
ること、何より学ぶ喜びがあることに気
づいてほしいと思っています。例えば実習
先から戻つてくると目つきが変わつてく
るもの。働く喜びに触れたり、このままで
はいけないと痛感したり。そういう変化
が起これば、自然に自主的に勉強する
ようになります。砂地にしみこむ水のよ
うに知識を吸収していく。学生に学ぶ好
機責任・喜びに気づいてもらうことが、
私たちの使命だと日々感じています。